

株式会社アスア 決算説明書き起こし

2026年6月期第3四半期

2026年5月14日



証券コード：246A 東証グロース・名証メイン

目次

■ 2026年6月期 第3四半期決算情報	… 2
■ 2026年6月期 業績見通し	… 7
■ 2026年6月期 第3四半期 トピックス	… 8

■ 2026年6月期第3四半期決算情報

株式会社アスア 代表取締役社長の 間地 寛 でございます。

それでは、2026年6月期第3四半期決算説明をさせていただきます。

2026年6月期 第3四半期決算説明資料

2026年5月14日

株式会社アスア

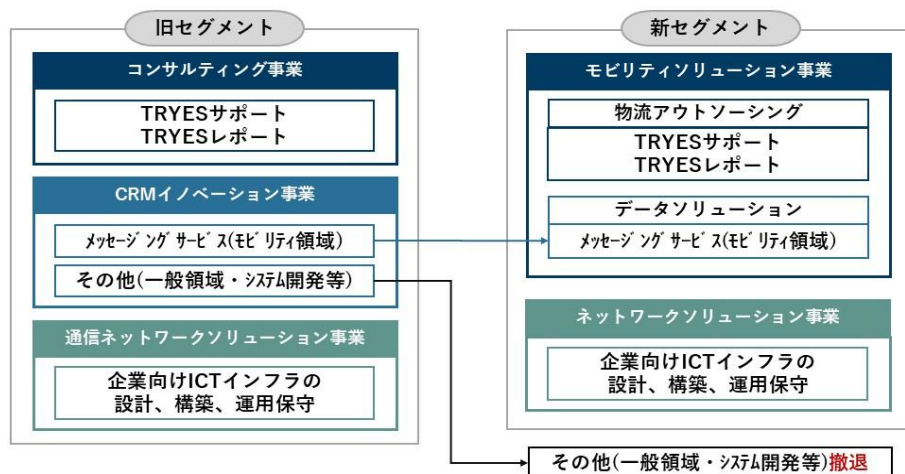


証券コード：246A 東証グロース・名証メイン

当社は当期の期首に、物流業界に特化した事業の推進体制を強化するため、セグメントの内容を変更しております。特に CRM イノベーション事業の「その他のシステム開発等」に関しましては、撤退することを決めております。

01 報告セグメントの変更について

2025年7月1日より、**物流業界に特化**した事業の推進体制の強化のため、報告セグメントを変更しております。



©ASUA Inc. All right reserved. 3

その結果、当第3四半期決算では、営業利益は前年同期比で減益となりましたが、物流アウトソーシングサービスを中心としたコアビジネスは引き続き順調に拡大しております。

その結果、売上高は11億300万円となり、前年同期比で3.1%の増収となりました。なお、コアビジネスに限定して見た場合には、前年同期比7.6%増と、堅調な成長を維持していることがお分かりいただけるかと存じます。利益面につきましては、営業利益1億600万円、経常利益1億700万円、第3四半期純利益7,000万円となっております。

01 2026年6月期 第3四半期決算ハイライト

ノンコアビジネスの撤退と戦略的投資により営業利益は減益となるも、
物流アウトソーシングサービスを中心に**コアビジネスは順調に拡大**。



- 売上高の主な増減要因**
- ・モビリティソリューション事業アウトソーシングサービスおよびネットワークソリューション事業は好調に推移（コアビジネス 前年同期比+67百万円(+7.6%)）
 - ・ノンコアビジネスの撤退による売上の減少
- 利益項目の主な増減要因**
- ・ノンコアビジネス撤退に伴う利益影響（前年同期比△45百万）
 - ・戦略的投資（東京支店移転・本社リニューアルなど）及び上場維持関連費用の増加
 - ・営業外費用にて、新規上場費用の減少（前年同期比△19百万円）
 - ・上場に伴う税率変更等による法人税等の減少（前年同期比△11百万円）

©ASUA Inc. All right reserved. 4

続いて、営業利益の増減要因をご説明いたします。

前期の営業利益は1億4,900万円でございます。これに対し、今期における営業利益の増減要因は以下のとおりでございます。

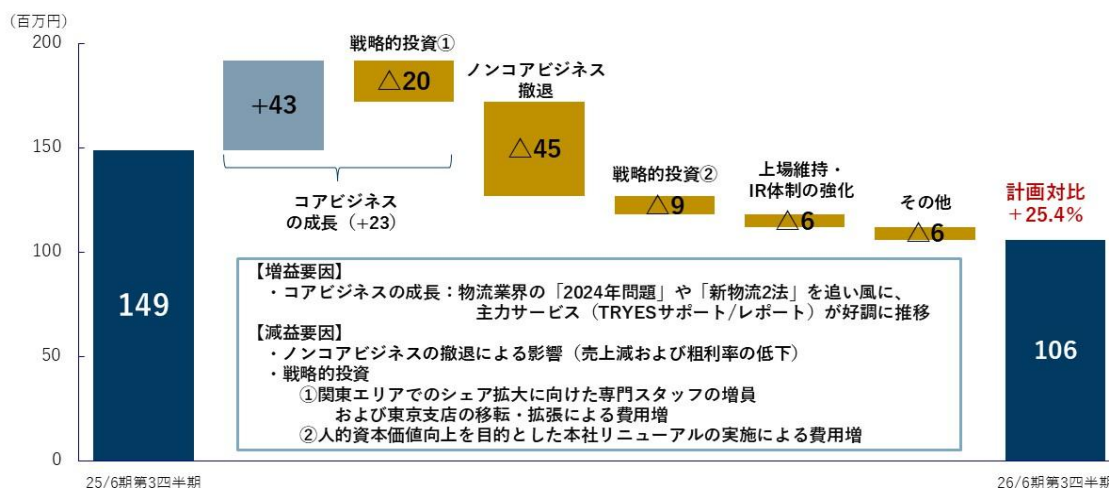
まず、コアビジネスの成長による増益要因として、4,300万円のプラスとなっております。

一方で、減益要因として、各種投資および構造改革に伴う費用影響が発生しております。具体的には、戦略的投資として、東京支店の拡充および人員確保を実施した影響が2,000万円、ノンコアビジネスからの撤退に伴う影響が4,500万円、本社リニューアルに係る費用が900万円、上場維持費用およびIR強化に関連する費用が600万円、その他の要因による影響が600万円となっております。

これらの結果、当期の営業利益は1億600万円となりました。

01 2026年6月期 第3四半期決算情報（営業利益の増減分析）

コアビジネスは堅調に推移し、期初計画を+25.4%上回る進捗



25/6期第3四半期

26/6期第3四半期

©ASUA Inc. All right reserved. 5

計画対比で見ますと、売上高で4.2%アップ、営業利益が25.4%アップ、経常利益については26.8%アップと、順調に推移している状況でございます。

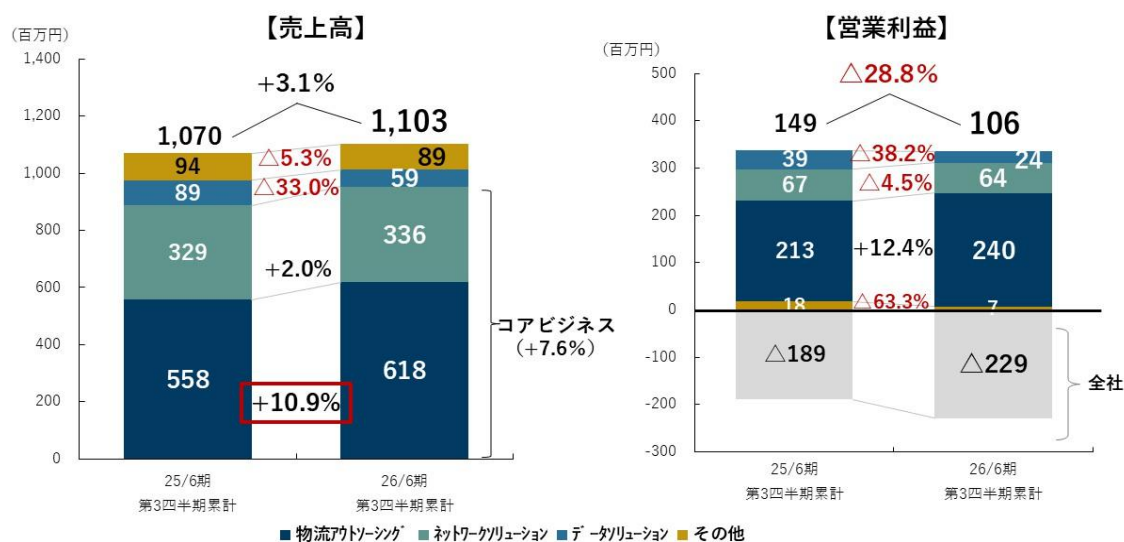
01 2026年6月期 第3四半期決算情報（前年同期比・計画対比）

(単位：百万円)	2025年6月期 第3四半期実績		2026年6月期 第3四半期実績						
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比		計画	計画対比	
					増減額	増減率(%)		増減額	増減率(%)
売上高	1,070	100.0	1,103	100.0	+33	+3.1%	1,059	+44	+4.2%
営業利益	149	14.0	106	9.6	△43	△28.8%	84	+21	+25.4%
経常利益	127	11.9	107	9.7	△20	△15.8%	84	+22	+26.8%
四半期純利益	79	7.4	70	6.4	△8	△10.7%	58	+11	+20.1%
1株当たり 四半期純利益 (円)	32.11	-	27.28	-	△4.83	△15.0%	21.91	+5.37	+24.5%

©ASUA Inc. All right reserved. 6

セグメント別で見ますと、特にメインの事業になっております物流アウトソーシングサービスは10.9%と2桁台の成長になっている状況でございます。

01 2026年6月期 第3四半期決算情報（セグメント別）



©ASUA Inc. All right reserved. 7

この物流アウトソーシングサービスにつきましては、「2024年問題」や「新物流2法」が施行され、安全対策に対するニーズが一層高まっているという背景から順調に伸びております。

01 2026年6月期 第3四半期決算情報（物流アウトソーシングサービス）

売上高618百万円（10.9%増） セグメント利益240百万円（12.4%増）

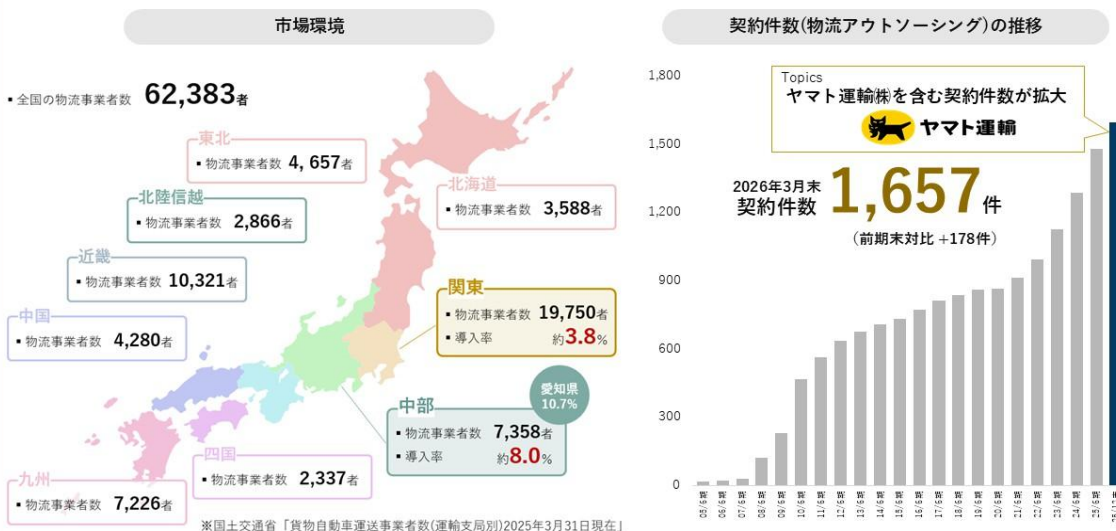
- 「2024年問題」や「新物流2法」が施行され、安全対策に対するニーズが一層高まっている
- 訪問型サービス「TRYESサポート」、クラウド型サービス「TRYESレポート」が好調に推移し増収
- 関東エリアでの営業体制強化のため、東京支店移転・拡張及び人員増等の戦略的投資の実行



©ASUA Inc. All right reserved. 8

契約件数は、3月末時点におきましては、1,657件となっている状況でございます。

01 2026年6月期 第3四半期決算情報（物流アウトソーシングサービス）

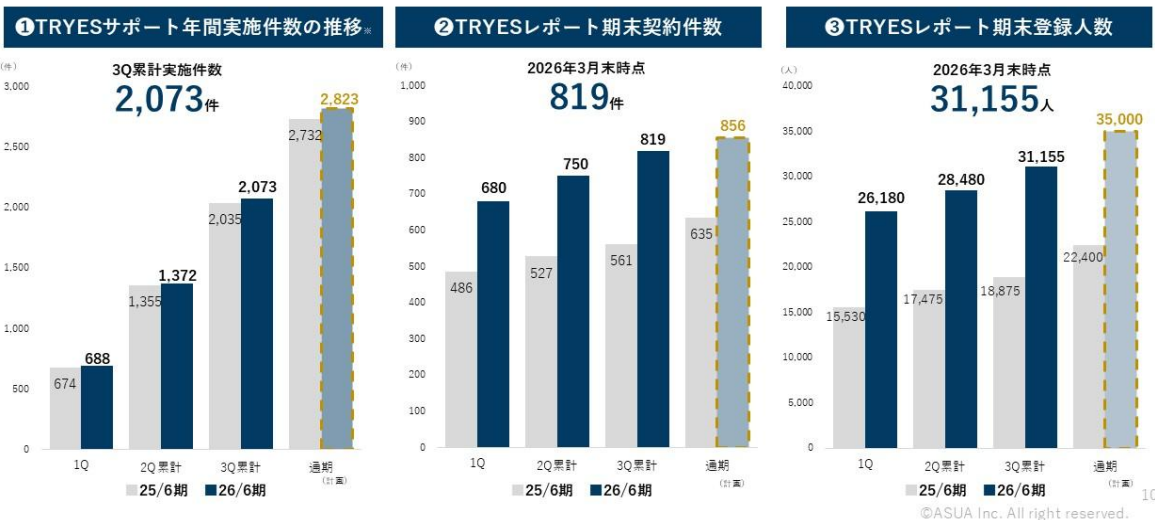


©ASUA Inc. All right reserved. 9

KPIにつきましても、TRYES サポートの実施件数は順調に推移している状況でございます。
 また、TRYES レポートの契約件数、そして登録人数につきましても予定通り増えており、順調に契約数が増えているのがお分かりいただけると思います。

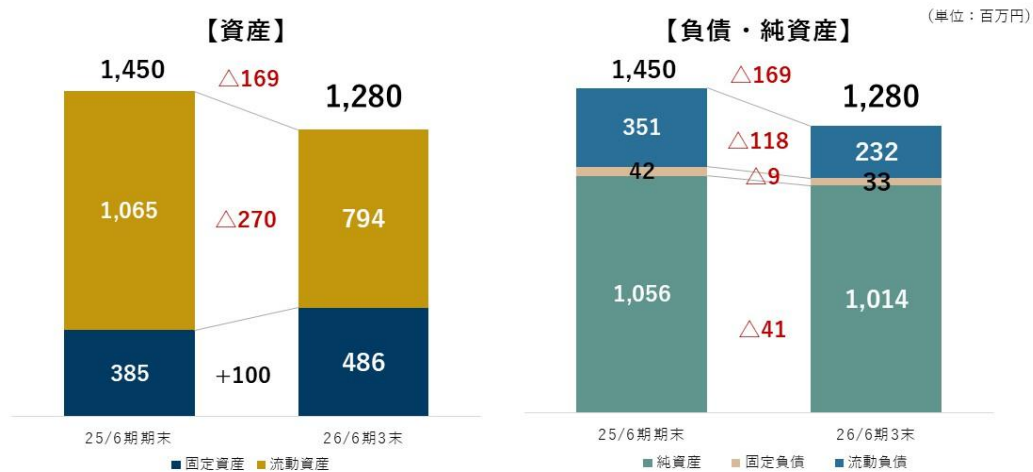
01 2026年6月期 第3四半期決算情報（KPI）

成長を牽引する主要なKPIは、堅調に推移



財務体質の強化につきましても、自己資本比率が非常に上がっており、今後この自己資本を活用いたしまして、当社の投資に生かしていきたいと考えております。

01 2026年6月期 第3四半期決算情報（財務の状況）



自己資本比率 72.8% $\xrightarrow{+6.4\%}$ 79.2%

©ASUA Inc. All right reserved. 11

■ 2026年6月期業績見通し

続きまして、2026年6月期の業績見通しについてご説明いたします。

まず、第3四半期の累計期間における業績につきましては、特にコアビジネスの売上が順調に推移していることと、経費削減に向けた各種取り組みが着実に成果を上げており、当初の計画を大幅に上回る水準で推移している状況でございます。ただ、前回発表いたしました株主優待に関する経費約2,000万円を期末に計上する予定でございますので、今期の見通しといたしましては、前回の公表値を据え置く予定でございます。

02 業績動向および通期業績予想について

◆ 業績動向：計画を大幅に上回る推移

当第3四半期累計期間における業績は、
コアビジネスの売上が好調に推移したことに加え、
経費削減の取り組みが奏功したことから、当初計画を大幅に上回る水準で推移。

◆ 通期予想：前回公表数値を据え置き

株主還元策の一環として実施する株主優待に係る費用(約20百万円)を
期末に計上するため、現時点での通期業績予想は前回公表数値を据え置き。

©ASUA Inc. All right reserved. 13

具体的には、売上高 14 億 2,200 万円、経常利益 1 億 3,400 万円と見込んでおります。

02 2026年6月期 業績見通し

ノンコアビジネスの撤退と戦略的投資で一時的に減益となるも、
物流アウトソーシングサービスの拡大で増収

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
1,422百万円	134百万円	134百万円	93百万円
前年同期比 +29百万円 (+2.1%)	前年同期比 △63百万円 (△32.2%)	前年同期比 △41百万円 (△23.7%)	前年同期比 △12百万円 (△12.1%)

売上高の
主な増減要因

- ・物流アウトソーシングサービスが好調に推移
- ・ノンコアビジネスの撤退に伴う売上の減少

利益項目の
主な増減要因

- ・関東地域での活動強化に伴い、東京支店の拡張および増員による費用増
- ・従業員の生活水準の向上に向けた政策実施（確定拠出年金導入、昇給率の見直しなど）
- ・上場維持ならびにIR活動の強化による費用増加

©ASUA Inc. All right reserved. 14

■2026年6月期第3四半期トピックス

それでは、この第3四半期のトピックスについてご説明いたします。

2026年2月に、従来の配当に加え、新たに株主優待制度を導入することを決定いたしました。まず、配当につきましては、前回発表のとおり1株当たり7円の配当を実施する予定です。これに加え、新たに総額2,000万円の「シェア型株主優待」を実施することを発表いたしました。前回公表した数値では、2025年12月末時点における200株以上保有の株主数は609名であり、この前提に基づくと、1名当たりの優待金額は32,841円、優待利回りは26.48%となっております。一方で、多くの株主の皆様から「現在の株主数はどの程度なのか」というご質問を頂戴しておりました。こうしたご意見を踏まえ、今回、株主優待制度を変更することといたしましたので、ご説明いたします。

03 株主還元について

株主優待制度の導入に伴う配当方針の変更

配当方針：配当と株主優待による株主還元の実施

株主優待制度の概要

対象の株主様	毎年6月末(基準日)時点の株主名簿において200株以上保有の株主様を対象
内 容	デジタルギフト®を配布 優待還元総額：2,000万円を対象となる株主数で分配（シェア型株主優待）
ご案内時期	基準日から3ヶ月以内を目途に発送

株主優待の内容（シェア型株主優待）



配当金の推移



©ASUA Inc. All right reserved. 16

変更点は、大きく3点ございます。

① 基準日の拡充（年2回へ変更）

これまで株主優待の基準日は6月末の年1回としておりましたが、今後は6月末および12月末の年2回を基準日とする体制へ変更いたします。

② 長期保有株主の優遇

より中長期的に当社を支援してくださる株主の皆様を重視する観点から、6か月以上継続保有している株主様を優待の対象といたします。

この①②の変更により、6月末時点で開示される株主数を基に、概算の優待金額を把握していただける点が、株主の皆様にとっての一つのメリットになると考えております。

② 優待原資の柔軟化（業績連動）

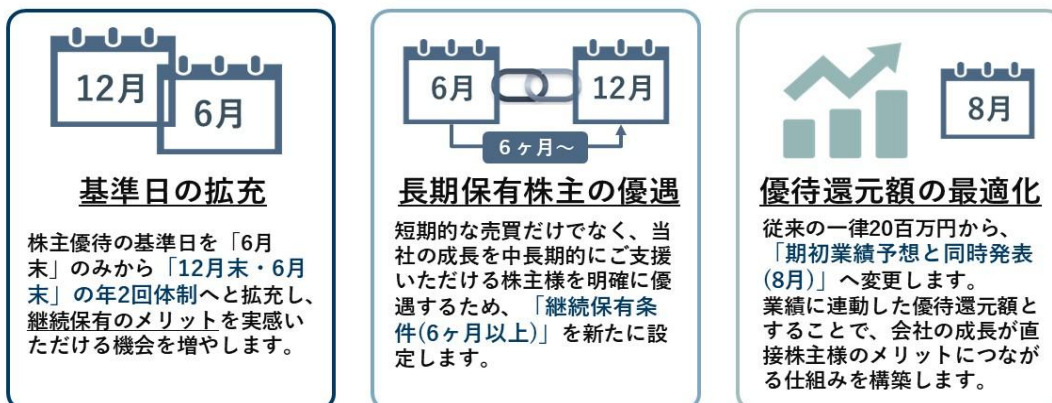
従来、株主優待の原資は一律2,000万円としておりましたが、今後は業績に応じて増減させる仕組みへと変更いたします。なお、優待総額を2,000万円未満とする予定はございません。業績の成長に応じ、将来的には優待還元額を増額していく方針です。

当社では、配当と株主優待の両面から、株主還元のさらなる充実を図ってまいります。

新たに導入したシェア型株主優待制度につきまして、ぜひ今後にご期待いただければと考えております。

03 株主優待制度の見直しについて

株主の皆様との強固なパートナーシップを築くため、
株主優待制度の見直しを実施します



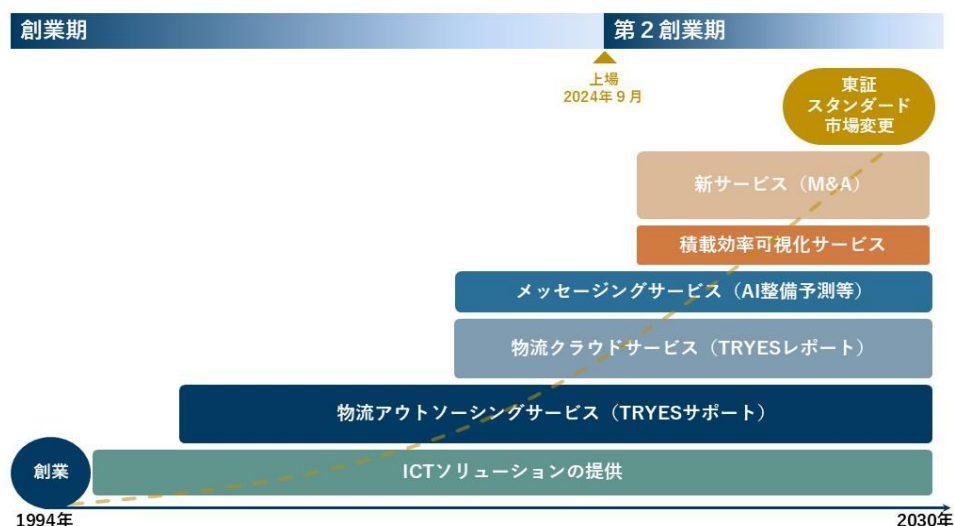
※2026年12月末基準日分より適用開始（2026年6月末基準日は現行通り）

©ASUA Inc. All right reserved. 17

最後に、中長期のロードマップについて説明したいと思います。

当社は2024年9月に上場し、現在、第2創業期を迎えております。また、本年2026年の3月には、名証のメイン市場へ市場変更を行いました。今後、東証スタンダード市場への市場変更を視野に入れ、取り組んでいる状況でございます。第2創業期としてこれまでの成長角度を変えていきたいという思いがあり、M&A に関しても積極的に取り組む計画でございます。ぜひ当社の成長にご期待いただきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

03 持続可能な魅力ある物流の実現に向けた中長期ロードマップ



©ASUA Inc. All right reserved. 18

ご清聴ありがとうございました。